

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

<p>部会・プロジェクト名</p> <p>第3回 地域自立支援協議会検討プロジェクト</p>	<p>開催日：令和3年10月20日（水）</p> <p>時間：13:30～14:30</p> <p>場所：松本市梓川公民館 多目的会議室</p>
<p>参加者構成機関名 松本市、安曇野市、塩尻市、麻績村、山形村、基幹相談支援センター、ケ・セラ、ハートラインまつもと、塩尻市社会福祉協議会、中信社会福祉協会、信濃友愛会、松本大学松商短期大学部、松本保健福祉事務所福祉課、事務局（中信社会福祉協会）</p>	
<p>次第</p> <p>(1) 第2回プロジェクト会議からの経過について (2) 市町村部会からの報告 (3) 意見交換 (4) プロジェクトの今後について</p>	

会議内容

(1) 第2回プロジェクト会議からの経過について

松本圏域は県内最大規模の圏域であり地域ごとで課題が異なるため、地域協議会に分けることになった。市町村部会において、市村の方向性について協議をいただいている。昨年度は地域協議会を緩やかなものにし、圏域の協議会をしっかりとしたもの、という方向になっていたが、市村では地域協議会についてはしっかりとしたものをつくり、圏域での協議の場は緩やかなもの、という方向性で動いている。その点が昨年度と変わった点になる。

(2) 市町村部会からの報告

松本保健福祉事務所 福祉課より他圏域の市町村自立支援協議会における県保健福祉事務所の役割について、情報及び資料の提供があった。

市町村部会に参加をしたサブリーダーの澤田様より報告があった。市町村部会の中では、地域協議会を塩尻エリア、松本エリア、安曇野エリアの3つに分割し、筑北3村についてはそれぞれのニーズに合わせた形、意向に合わせた形をつくることになった。市町村部会では地域協議会はしっかりとしたものをつくり、圏域の協議の場は緩やかなものにしたらどうか、という意見が出た。圏域の協議の場については、8市村、基幹相談支援センター、保健福祉事務所を基本的な形とした連絡会をつくったらどうか、という意見が出された。現在ある専門部会及びプロジェクトについては、どれを圏域に残し、どれを地域協議会へ下ろしていくのか検討をする必要がある。

(3) 意見交換

- ・他の地域協議会とどのように連携をしていくのが課題。
- ・圏域及び地域協議会の要綱をどのように整理していくのか。
- ・地域協議会のメリットは地域の課題を上にあげやすい。相談支援事業所の活性化にも繋がる。
- ・各市村、エリアの中で既存の会議等を組み合わせる必要があると思う。声を掛ける団体に漏れないようにお願いしたい。
- ・今後、地域協議会が活性化されてくると地域の様々な課題が上がってくるのではないと思う。
- ・何を圏域に残し、何を地域協議会におろすのか整理が必要。また、それぞれの地域協議会でスタートを一緒にするのか、それぞれ動くのか、すり合わせが必要だと思う。

- ・圏域の横の繋がりが無くならないようにしてほしい。
- ・8市村の連絡会で協議をする内容は？
- ・8市村の連絡会については、1年間の動きの青写真を持ち寄り、共同でやることをすり合わせる必要性があると思う。
- ・地域協議会に分かれても新しい仲間づくりができるよう、参加事業所等の底上げができるようにしてほしい。
- ・圏域の要綱、地域協議会の要綱をどのように整理していくのかについては、それぞれの形や共通の課題が見えてくるとつくりやすいのではないかと。

#### (4) プロジェクトの今後について

- ・圏域の協議会に携わっている方々にどのように伝えていくのかがこのプロジェクトが担う役目だと思う、早めの情報及びイメージを伝えていく必要があると思う、との意見があった。
  - プロジェクトとして今後の動き及びイメージを迅速に伝えていくことになった。
  - 圏域の協議の場については、引き続き市町村部会と連携をしながら当プロジェクトで検討をしていくことになった。

その他：第3回幹事会において、地域自立支援協議会検討プロジェクトより松本保健福祉事務所福祉課を正式に構成機関として追加する為の協議を行う旨、プロジェクトメンバーより了承をいただいた。

次回 開催日時：令和 年 月 日 : ~ :